

〔秋季例会報告〕

川上村の植物観察会 (174・175回例会)

田中光枝 越石俊江

第174・175回例会は、平成16年10月10日(土)～11日(日)に川上村梓山ならびに毛木平より秩父多摩甲斐国立公園内で行われた。

参加者は林 一六会長、上松征子、池田登志男、和泉国子、井出 靖、上野勝典、上野由貴枝、大塚孝一、小口好久、川上美保子、越石俊江、柴平志保子、島野光司、高野すみ子、高橋耕一、高橋靖子、田中光枝、中山冽、橋渡勝也、宮島吉彦、竹重 聡、田口、篠原、戸谷弥生、加藤 順、友野増夫の26名であった。

第1日目：午後1時に川上村の旅館「白木屋」に集合し、それぞれ車に分乗して梓山に集まり、天然記念物アズサバラモミの説明を受け、付近の植物を観察した。出現した草木は、ハナタデ、カメバヒキオコシ、イワアカバナ、ヤブニンジン、ヤブジラミ、ハクモウイノデ、ミヤマクマワラビ、アズキナシ、ウワミズザクラなどである。

続いて、アヤメ平(標高1379m)に向かい植物を観察した。先日までの台風の影響で所々に水がたまり川のようにになっているところがあった。出現した植物はヤマラッキョウ、クロツバラ、リンドウ、アヤメ、エゾノコリンゴ、イブキボウフウ、ズミ、シラカバ、マユミ、オニツルウメモドキ、イケマ、ウチワドコロ、ハルニレ、キジカクシ、ニッコウシダ、ヒメシダ、ハネガヤ、ウラゲワレモコウ、フユノハナワラビ、ヤマハナワラビ、シバスケ、アカマツ、ヒカゲスケ、ヨモギ、ナンブアザミ、ミツバツチグサ、ヤナギバヒメジョオン、タチフクロ、キンミズヒキ、ノコンギク、コオニユリ、ハナチダケサシ、コウゾリナ、ボタンヅル、カワラマツバ、トダシバ、オトコヨモギ、オミナエシ、カラメドハギ、フデリンドウ、オケラ、カラマツ(植林)、ノガリヤス、イボタヒョウタンボク、ミヤマクマワラビ、ツリガネニンジン、オシダ、ヘビノネゴザ、ウツボグサ、カラカサゴケ、オトコエシ、アキカラマツ、ヤマカモジグサ、キタノカワミドリ、サナギイチゴ、マツムシソウ、ベニバナイチヤクソウ、ヤマホタルブクロ、ニシキギ、クルマバナ、メマツヨイグサ、ゲンノショウコ、ヤマオダマキ、ホタルサイコ、オオアワガエリ、アキノキリンソウ、クサイ、ウシノケグサ、オオヤマフスマ、オオアブラガヤ、サルオガセ、オオバナヤエムグラ、マンセンカラマツ、トダシバ、イトスゲ、ヌカボなど。

夕方、4時過ぎに旅館に戻り、夕食をとった後、研究会を行った。橋渡勝也氏が「アズミトリカブト(仮称)について：長野県産トリカブト類の分類の難しさ」、林 一六会長が「カザフスタン(亜高山帯草原)の生態について」発表し研究を深めた。

第2日目：毛木平(1435m)に駐車し、紅葉が始まった秩父多摩甲斐国立公園内を、千曲川源流を目指して植物観察をし、昼食を途中でとり、引き返した。出現した植物は、マルバダケブキ、ウラゲエンコウカエデ、モトゲイタヤ、アサノハカエデ、ベニバナイチヤクソウ、ゴマナ、ハナイカリ、キオン、ノガリヤス、ウラジロモミ、ハネガヤ、ヒメシダ、ヤマカモジグサ、ミヤマワラビ、カリヤスモドキ、ミヤマイボタ、カントウマユミ、ヤマハナワラビ、タカネザクラ、アカハナワラビ、サワグルミ、ヘビノネゴザ、アオダモ、ゲンノショウコ、ニッコウナツグミ、ミヤママタタビ、ウチワドコロ、ヤマブドウ、サルナシ、アズキナシ、オノエヤナギ、ヤブマメ、イトマキイタヤ、オオヤマフスマ、シロバナヘビイチゴ、ヤマチドメグサ、ヤグルマカエデ、クサイ、ハリギリ、イボタヒョウタンボク、ヒメスゲ、ヒメシダ、イワデンダ、ハシバミ、エゾデンダ、ツノハシバミ、フクロシダ、ヤマネコヤナギ、チョウジザクラ、ミズナラ、レンゲツツジ、サビバナナカマド、リョウブ、ブナ、ヒロハツリバナ、イケマ、ウワミズザクラ、コミネカエデ、ヒロハコンロンソウ、カラマツ、タチツボスミレ、カメバヒキオコシ、アセビ、キジムシロ、ウラジロモミ、ボロギク、コメツガ、サンヨウブシ、ハウチワカエデ、カンスゲ、オウレンシダ、ミヤマシキシダ、ヒロハカツラ、ミヤマワラビ、ミヤマアキノノゲシ、オクヤマシダ、ケバイカ

ウツギ、ダケカンパ、オオカメノキ、コシアブラ、サラサドウダン、シラネワラビ、ミズメ、ナガオノキシノブ、ミヤマホツツジ、キオン、イヌコリヤナギ、コチャルメルソウ、クロベ、コウヤノマンネンゴケ、ミツバオウレン、オオバヤナギ、アズマシャクナゲ、シシガシラ、フクロシダ、ヤマハシノキ、ダイヤモンドソウ、タマガワホトトギス、ツクパネ、コキンレイカ、ユモトマムシグサ、ヒメノガリヤス、ホソバコケシノブ、ヤマハシノキ、ミヤマウラボシ、コケミズ、フイリフモトスミレ、テツカエデ、チョウセンゴヨウ、ミツバツチグリ、アカバナ、トウゴクミツバツツジ、オオバミネカエデ、ノコンギク、オガラバナ、ヤマカモジグサ、タチネズミガヤ、オノエヤナギ、イタドリ、ウリハダカエデ、ミズ、ミヤマカタバミ、サワラ、ノリウツギ、ツルネコノメソウ、フクオウソウほか。

川上第二小学校裏の林道を上がり、長野県絶滅危惧ⅠA類に指定されているニシキコウジュを観察した。途中倒木が道を塞ぎ車を置いて歩く一幕もあったが、案内役の中山氏、池田氏に感謝しつつ、参会者の熱意にも敬服。



第2日目、秩父多摩甲斐国立公園内にて